

## クアラルンプール・シンガポール滞在記（2024/1/25～2/25）

クアラルンプール（以下 KL）訪問はこれで 10 回目である。2011 年のマレーシア長期滞在調査旅行から 13 年経った。新型コロナウイルスの災禍が終わり KL 経済も相応に回復していた。物価は日本の約半分だ。Wi-Fi 環境は日本とほぼ同じで通信速度が速い。スマホの SIM カードをマレーシア用に交換したので Wi-Fi 無いところでも通信可能となった。

今回 1/29～2/1（3泊4日）シンガポール滞在を除き 28 日間 KL に滞在した。今回は通算 31 日間の滞在となった。今回初めてサウジャナにある滞在型アパートで 18 日間暮らす。シニア世代の生き方の参考になれば幸いだ。（リンギ（RM）＝約 30 円）

### 1、26 日（金） マレーシアへ

深夜 0：05 羽田発 ANA 便で発ち 26 日 6:30 KL 第一国際空港に着いた。旅行鞆 3 個とゴルフバッグ 1 個で相当大量だった。空港でマレーシア用の SIM を購入してスマホに挿入した。これで WI-FI が届かない場所でもネット通信が可能となった。

7時から9時までは交通渋滞が予想されたので KL 空港で朝食を取り、10時過ぎにパークロイヤル・レジデンシャルスイーツに着いた。タクシー代は 230RM だった。去年はホテルでチェックインしてそのまま入室出来たが、今年は荷物預かりとなった。ホテルはほぼ満室に近いようだ。気温は 33 度だが日本の猛暑より過ごしやすい。ホテルやショッピングモール内では概ね 25 度で快適だ。12 時半に香港上海銀行支店（以下 HSBC）とアポが取れた。今回 HSBC 訪問目的は預けてある投資運用の成果確認だった。残念ながら運用の 5 割は不芳だった。日本国内での株式投資の知見が高まったので解約して日本に送金する手続きをした。

### 2、27 日（土）

KL 在住 13 年のご夫妻と KL ツインタワーでお会いした。ツインタワーのモールには伊勢丹や紀伊国屋書店があり度々利用している。経済事情と国際情勢などを話題に楽しいランチであった。ご夫妻は 77 歳と 69 歳だが昨年より精悍になっていた。週 3 回のゴルフと資産運用・お稽古事などで充実した生活振りには刺激を受ける。

### 3、28 日（日）

KL 在住友人家族 7 人での夕食会に参加した。都心から西 15 k の郊外に位置する中華風スペイン料理店だ。海外滞在生活の楽しみは食事と知人との会話だ。現地事情など話題は尽きない。店内は既にチャイニーズ正月モードで飾りつけも豪華だった。

### 4、29 日（月） KL からシンガポールへ

早朝に予約したタクシーでまず 80%の荷物を長期滞在する予定のコンドミニウム（以下コンド）に立寄りコンド管理室に預けた。その後軽装で空港に向かった。シンガポール（以下 SG）のチャンギー空港は 8 年前に来たが、更に広大で豪華絢爛な新しいターミナル（通称ジュエル）が増設されていた。そこで姪（昨年 JTB の SG 支店に転勤）と会いランチした。施設



はシンガポール特有の南洋植物を贅沢に採用したものだった。中央に聳える滝は映画「アバター」のシーンを思わせるような壮大な人工の滝だ。(写真参照)

市内中心部の Carlton Hotel にチェックインしてからマリナベイ周辺を散策した。マーライオンやマリナ湾沿いフラートン・ホテルでお茶をした。マリナ・ベイ・サンズをバックにお洒落なイタリアレストランでの夕食だった。

5、30日(火)

マレーシアの最南端のジョーホル・バル(以下 JB)の南岸にフォレストシティ(以下 FC)という人工島がある。中国最大の不動産会社カントリーガーデン(碧桂園)が千億ドル(14兆円)の資金を投じて 10 数年前から建設しているも

のだ。未完成の未来都市だが人口 70 万人を構想したもので専ら中国からの富裕層狙いだったそう。しかし 2018 年にマハティール首相となり外国人の入国制限を出したことで雲行きが怪しくなり、その後習近平政権が中国人の海外移住制限も出した。この為この建設計画は暗礁に乗り上げている。中国にはこうしたマンションを建設したものの住人の住んでいない通称「幽霊城」が多数ある。

国境を超える為午前 10 時半、マレーシア行き専門のタクシーに乗車して JB に向かった。出国と入国手続きに約 1 時間かかり、JB に到着したのは 12 時頃だった。そこから FC まで 30km の距離で渋滞もなく 30 分で着いた。

遠方からの眺めは古代都市バベルの塔のようだった。しかし現地は道路の建設工事中であり一応営業していた。中心部分のパビリオンに

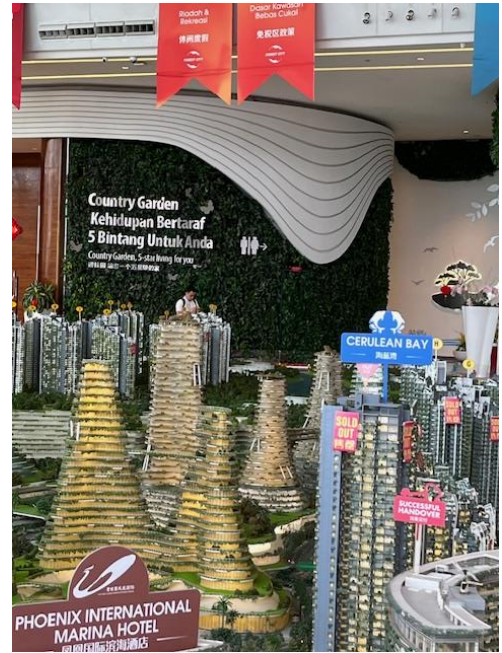


は都市計画の模型を前に数人の見学者と営業スタッフがいた。外は海辺が広がり、プール、学校施設、植物公園もあった。しかし殆ど住人の姿が見えない。更に百棟もの高層マンションの半分以上が売り切れ (Sold Out) の赤札が貼られていたのは驚いた。マンション価格は不明だが、FC内の宿泊ホテルは1泊RM500(15千円)だった。また近隣にはゴルフコースが4つ運営されていた。

1時間程度で見学を終えてSGに帰国したのは夕方だった。



マリーナベイホテルの海側に建設された植物園「ガーデン バイザ ベイ」を見学した。そこからホテルに歩いて夕焼けを觀賞した。その後ホテル内のショッピングモールを散策した。モール内には巨大カジノがある。外から覗いただけだが相当数のお客が見えた。またATMが周辺に多いのが目についた。



#### 6、31日(水)

午前中に地元不動産会社社長と面談した。SGの物価が高騰しているのは事実だが賃金も相応に上昇しており一定のバランスが保たれている。また高級レストランの夕食の値段は概ねS\$500なので円換算で55千円となる。シンガポールから日本への旅行が増加しているのは円安の影響で物価の安さが要因のことだ。2年前のSG\$は80円だったが今は110円だ。

山田コンサルティング日本人幹部とランチした。銀行退職後に出向転籍した会社で、当時この幹部は新入社員だった。今SG法人の日本人トップだ。山田コンサルの現地法人本社はSGだが、インドとインドネシアにも事務所を設立しており、本社より多数(30人~50人)のスタッフが働いているという。業務内容は市場調査案件が多いそうだ。私が40年前三和総合研究所勤務時代にはアジアNIES(韓国・台湾・香港・SGの4つ)への日本企業進出支援の市場調査が多かった。今はインドとインドネシア進出がブームのようだ。(写真)



## 7、2月1日（木） マレーシアに移動

タクシーでチャンギ空港に向かった。政府が国内自動車保有制限をしているので道路渋滞は殆どない。空港での出国手続きも全て無人の機械だった。

マレーシア空港には10時半に到着し、入国検査はMM2H保有者なので外交官ゲートで済ませた。SAUJANAにあるコンドにタクシーで向かったが大変な渋滞だった。通常40分のところ2時間かかった。原因は交通事故だと運転手は言っていたが事故の痕跡はなく、真相は道路の車線整備工事だった。

13時にSAUJANAのコンドについた。管理人は非常に社交的で親切だった。契約書と宿泊代金を払い、契約者向け案内書と一般向けガイドブックを頂いた。

コンドには3タイプ（210平米、160平米、120平米）あり、我が家は3号棟の9階だった。160平米で18日間の家賃は2700RMだった。光熱費は解約時に追加清算される。



## 8、2日（金）

当面の生活物資など買い出しに最寄りのチッタモールに出かけた。コンド専用バスにて15分で着いた。マレーシアにも百円ショップに似た雑貨店があった。当地では2.4リングショップ（約70円）だ。モール内には寿司ざんまい、中華、洋食、韓国、タイ、インド、アラブなどの料理店が10数カ店以上あった。今回はアラブ料理（インドカレー風）を食したが相当辛かった。

## 9、3日（土）

9時15分に隣接するサウジャナ・ゴルフのドライビング練習場へ家内と行った。練習場は300ヤードもある広大な施設で打席は40席程だった。個室コーナーやアカデミーコーナー（10席）もあり盛況だった。

100個RM18（約540円）でボールを借りて家内と交互に打った。気温30度なのでこれで汗びっしょりとなった。その後隣接するグリーンでパター練習して、最後にゴルフコース内のレストランで休憩した。なかなか日本では味わえない快感だった。

コンドは全部で8棟あり、約300余の貸室があるが現状稼働率は60%程度とのことだ。コロナで激減したそうだ。サウジャナ・



ビラは週単位の賃貸が出来る数少ないコンドだ。周辺には有名な SAUJANA・GOLF がある。

#### 10、4日(日)

昨日と同じく9時に家内とゴルフ練習場で汗を流した。その後レストランでココナッツとカフェを飲んだ。体調を考慮してビールは避けた。ランチをマンション内に一軒ある中華料理店で済ませた。非常に美味しかった。

#### 11、5日(月)

朝散歩に出かけた。コンドの裏はサウジャナ・ゴルフコースだ。表玄関前の道路を歩いた。するとレストランや新たなコンドも出てきた。この周辺にはコンドが大変多い。そしてLRTのAra Damansara 駅が近くに見えた。このLRTはLight Rail Transitの略でマレーシア特有の軽装鉄道だ。地上と地下を走るモノレールタイプだ

午後0時(日本時間1時)からの勤務先の経営会議にオンライン参加した。幹部との週1回開催される重要会議だ。トラブルなくスムーズに参加出来た。

#### 12、6日(火)

この日ミッドバレー・モールへ行った。コンドには9時発の無料の送迎バスがあり、目的地まで30Kmあった。道路渋滞の為に50分かかり10時のモール開店とほぼ同時に着いた。ミッドバレーはマレーシア日本人倶楽部が近い。またKLの高級住宅地のモントキアラにも近いので便利だ。ここで土産物を買ったあとで、香港系の中華レストランでランチを取った。麻婆豆腐が昔より辛かった。モールは既にチャイニーズニューイヤーで賑わっていた。



#### 13、7日(水)

SAUJANA PALM COURSE で友人仲間とプレイした。11番ホールと12番ホールは滞在しているコンドからも見える。このコースはコロナ前までPGA選手権が開催されていた。その為ハンディキャップ証明とパスポートの提出が必要だった。

気温30度の炎天下で体調は悪くなかったもののコースには完敗した。18ホールで2リットルの水は飲んだだろう。ホールスルーなので最後の2ホールでは相当ばてた。汗でグラブの握りも弱くなっていた。しかし終了後の快感は何とも言えないものだった。

14、8日（木）

LRT で昨年 11 月にオープンした TRX (TUN RAZAK EXCHANGE) を見学した。コンドからの所要時間は通算で約 80 分だ。西武百貨店がメインテナントで近くにパビリオン、KLCC など巨大モールがあるので、都心の新たな観光地となった。西武百貨店の地下 1 階の「鮭すずき」でランチして、その後「カフェキツネ」でお茶をした。

午後香港上海銀行のブキビンタン支店を再訪した。26 日に投資勘定を一部解約していたので普通預金残高を確認し、その一部を日本に送金した。

15、9日（金）

SAUJANA・GOLF BUNGARAYA で友人夫婦とプレイした。このコースは 1 昨日プレイした PALM コースより難易度は少し下がる。カジュアルなコースなので夫婦同伴が多い。この夫妻は既に 10 数年長期滞在しており、我々のコンドに近い賃貸マンションを 1 年ごとに更新している。相模原カントリークラブのメンバーで数年前に友人の紹介で親しくなった。

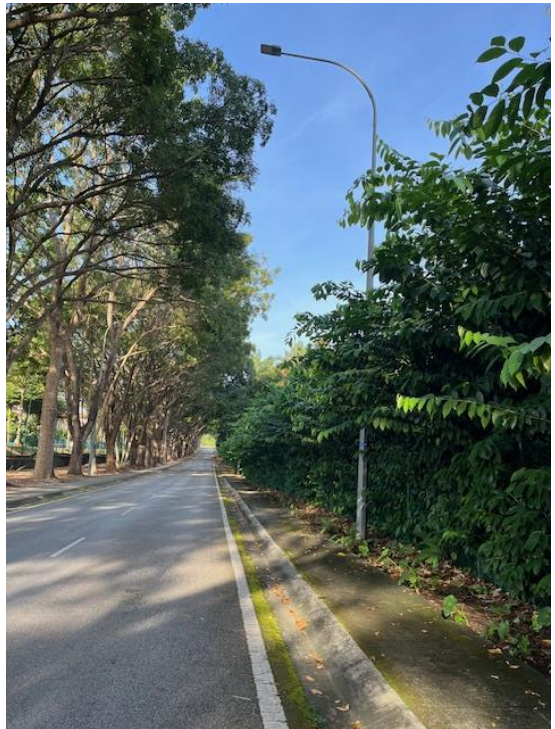
16、10日（土）

今日から Chinese New Year (旧正月) だ。ゴルフ場はほぼ閉店だ。家で静養を心掛けてきたが、数日前から咳が出て止まらず痰と鼻水も酷かったので HIBARI クリニック (Citta モール) に行った。インド人らしき医師と日本語堪能な看護婦のペアで診断を受けた。抗生物質の薬をもらった。治療費は 480RM だった。VISA ゴールドで支払ったので海外旅行保険が適用される筈だ。数年前にも足の皮膚病に罹患し治療を受けた経験がある。海外滞在では病気は付き物で健康管理は重要だ。

17、11日（日）

朝食後コンドの周りを散歩した。今回は SAUJANA ゴルフコースの最北端までの往復コースでちょうど 1 時間かかった。周辺には幾つものコンドがあった。森と林に囲まれており散歩とジョギングに最適だ。

SAUJANA コンドの近くにはクアラルンプール日本人学校（幼稚部、小学校、中学校）がある。この学校は 1966 開校で歴史と伝統がある。かつて海外日本人学校としては最大規模であったそうだが、コロナ以降減少して 5 百人と減少している。

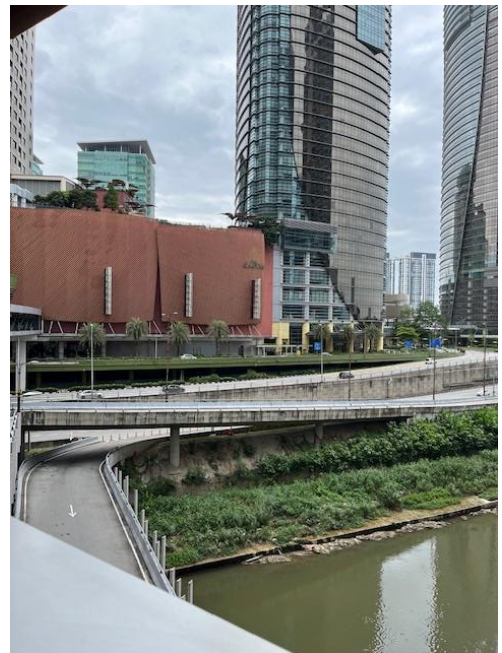


18、12日（月）

最寄りの Ara Dasamana から Abudillah Hukum 駅経由してミッドバレー・モール（写真参照）を再訪した。今回はコンド専用バスで行ったが、LRT で行った。LRT 料金は片道 3.2RM と格安だ。

今回はダイソーでの買い物とランチが目的だ。ランチは名古屋出のどんかつチェーンの「まめとん」で取った。38RM なので 1200 円程度だが非常に旨かった。日本なら 1800 円はする内容だった。和食は現地価格が日本より高くて不味いのが通常だが、「まめとん」は 2013 年に KL 進出し 9 店目とのことだ。更に昨年マレーシアの南端のジョホールバルにも新店を出している。

シンガポール訪問時に確信したが強いブランドを持った外食企業は KL でも成功していると思う。昨年 3 年振りに来た時半数の和食店が閉鎖していたが、海外で成功する最低条件は「ブランド」だ。



19、13日（火）

同じコンド仲間 R 夫妻と Kelab Abudul Aziz Shah Golf に行った。朝 6:15 に出口で集合し Grab を呼んだ。幸い数分で 6 人乗りの大型バンが捕まったが、道路渋滞で 15 分経っても車が動かないので已む無くキャンセルした。その為家族別々に Grab を呼んだ。これが奏功して目的地にスタート時間ぎりぎりに着いた。

Grab が一般タクシーを凌駕するほど普及発展した KL でも時間帯と地域によってこのような不便もあることを知った。友人夫妻によれば Grab の遅れで予定時間に間に合わずゴルフをキャンセルしたこともあったそうだ。

2 月中旬に入り夕方のシャワー（夕立）は殆どなくなり、深夜に時々雷を伴うシャワーが発生するようになった。12 月から 1 月が雨期で毎日夕方に夕立（4 時～5 時）があるそうだ。

R 夫妻とは数年前に偶然 S 夫妻と中華レストランで知り合った仲だ。たまたま横浜市住人とわかり日本でも数回夕食とゴルフを一緒させて頂いている。昨年末に弊社と S 夫妻が 70 歳なので古希の祝いを横浜元町の「萬珍楼」で開催した。

20、14日（水）

午後サウジアナコンドの日本人担当マネージャーと面談した。SAUJANA ビラは 2015 年頃が最盛期で入居率 90% だった。日本人学校が目の前なので駐在員家族が 70% で長期滞在者が 30% の内訳だった。2015 年はマレーシアが日本人の海外移住と長期滞在者で 14 年連続 N01 の記録を獲得した頃だ。それから徐々に減少したがそれでもコロナ前は 80% の入居率を維持していた。しかしコロナで 30% 居た長期滞在者が帰国して激減した。駐在員も減少し現在の入居率は 60% とのことだ。

## 21、15日(木)

12時(日本時間13時)に勤務先の取締役会にオンラインで臨んだ。Webシステムは改善され日本国内での参加とほぼ同じだった。そのあと同子会社の会議にも監査役として参加した。勤務先の協力には大変感謝している。

## 22、16日(金)

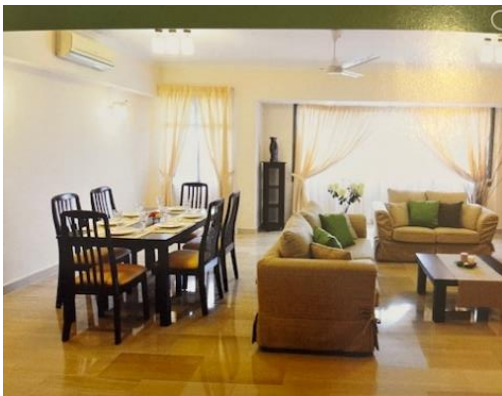
テンプラーゴルフコースでS夫妻と家族ゴルフを楽しんだ。朝5時起床し6時にGrabを呼んだ。道路は早朝なので渋滞なく7時前に到着した。このコースは日立製作所グループが関係していたので朝食はおにぎりのみそ汁付き和食を選択した。韓国人が多かった。週末は日本人のほうが多いそうだ。(尚週末のゴルフ料金は平日のほぼ2倍)

13日はR夫妻との同伴ゴルフだったが、当地では圧倒的に夫婦同伴が多い。男子だけの集まりもあるが、今回KLで私は4回ゴルフの内3回は家内との同伴だ。



## 23、17日(土)

朝食はコンドの道路前のカフェでロスチャナイというマレーシア風目玉焼きとパンセット(写真参照)を食べた。二人で12RM(360円)と格安だ。飲み物はマレーシアの国民的飲み物でテタレというミルク紅茶にした。



Our beautifully appointed 3 and 4 bedrooms units offer a spacious 1300 sq ft of living space. All units are furnished with a blend of natural materials and modern furnishing and décor, providing an ultimate experience of luxury with c

翌日コンドを出るので最終光熱費の利用量をチェックされた。結果約500RM請求された。18日の家賃は合計3300RM(約99千円)だった。(コンド案内パフ参照)

3週間の短期滞在であったが期待以上の価値で満足のいく生活だった。



## 24、18日(日)

散歩でサイクリングの集団に遭遇した。毎日曜9時頃コンド前の道路をサウジャナ・ゴルフコースの周りをツーリングするそうだ。



午後市内のサマセットホテルに移動する為のパッキングを終えて出口で Grab を呼んだ。スーツケース 3 個とゴルフバッグ 2 個なので 6 人乗りタクシー（大型タイプ）を指定した。ただこのドライバーは聴覚障がい者だった。その為交信は全てチャットだった。聴覚障がいのタクシー運転に一抹の不安あった。しかし何の問題もなくホテルに到着した。運転は Web で混雑の少ないルートに選択しながら巧みだった。因みに聴覚障がいのGrab運転は一般化されている。

さてホテルのフロントは今年のスタッフはいなかった。ホテル周辺に新たな高層ビルの建設が進んでいた。AmpanPark にはスケートボード用の施設を完備した公園が整備されていた。さらに MRT (長距離鉄道)用の駅が新設されていた。この駅からプトラジャヤまで乗り換えなしで行ける。

ホテルに入室してまず実施するのは WI-FI 接続だ。今や PC とスマホに WI-FI は必須だ。今回入国時に SIM カードを入れ替えているので WI-FI 接続なしでも通信は可能だが通信スピードが断然違う。幸いスマホは簡単に接続できたが PC の接続が少し手間だった。操作途中で「ヘルプ機能」があったのでそれを利用して接続できた。部屋の広さは昨年と同じだが書斎が新設されていた。荷物入れも充実していた。



## 25、19日（月）

日本とのオンライン会議が 2 件ありそれに参加した。夕食は KL 在住 12 年の友人と最近オープンしたという Botanica レストランだった。高速道路近くで駐車場が広く、広大な公園内にはオシャレなレストランが集積していた。敷地内には和食、韓国、イタリア、フレンチ、タイ、マレーシア、中華など概ね揃っていた。

## 26、20日（火）

午前中にホテルのシャトルバスで昨年 11 月完成した TRX (Tun Razak Exchange) に行った。壮大なショッピングモールとレストランと劇場と空中公園と 106 階の高層ビルが名物だ。高層ビルの「Exchange 106」は金融センターを目指しているそうだが、テナント群には現状エリクソン、サムソン、オムロンなどだった。ショッピングモールを見学し、西武百貨店の食料品売り場を探索し、最後和風焼肉店でランチした。この焼肉店も 10 日前にランチした「鮭すずき」と同じ食品輸出商社の鈴木商店が経営しているようだ。

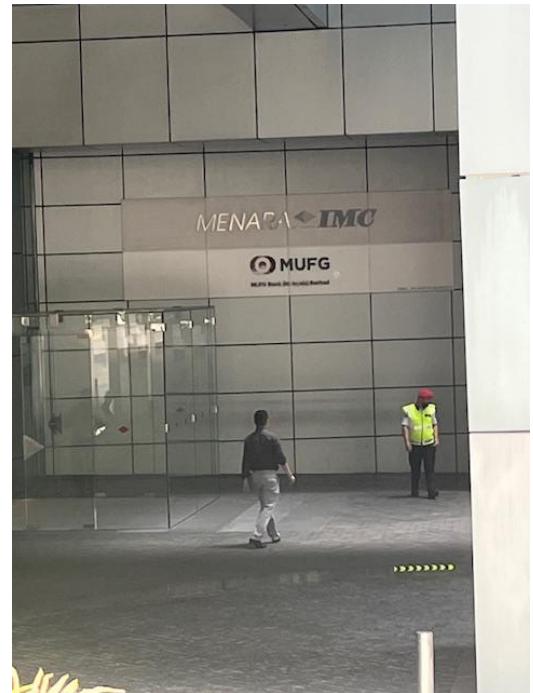


夜はKL 在住13年のHご夫妻とBangther 駅隣接のホテル41階にあるフレンチで夕食した。ミシュランの今年の候補にもなっているようで日本人シェフが活躍していた。

#### 27、21日(水)

2月初旬に風邪(咳と鼻水)の治療でHIBARI クリニック(GittaMall)店に行き快癒した。しかし風邪の副作用なのか2月中旬頃から鼻の中が爛れた状態が続いていた。市販薬では快癒しないので再度HIBARI クリニック(KLCC)店に行った。このクリニックは5年前にも行ったところで、同じビル内にMUFGがあった。

午後タイ式マッサージ屋に出かけた。KLの足マッサージ店は非常に多いが、メッカはブキビンタン地区北側にある露天商界限だと思う。私が行くのもその一つだが相当大きな店舗で数十人は一度に収容できる。足マッサージ60分の料金は60RMだった。



#### 28、22日(水)

プトラジャヤに出かけた。ここはマハティール首相が建設した新都市だ。KLにあった殆どの官公庁を移転した。その住人も官公庁関係者といわれている。建設し始めてから20数年経つが年々人口は着実に増加し今や12万人とのことだ。昨年MRTの地下鉄路線が延伸した。ホテルから最寄りのAmpanPark駅から45分(約距離35k)でプトラジャヤ中央駅に着いた。Masjid Mahmoodiah(通称ピンクモスク)までタク



シーで15分だった。このモスクは観賞無料だが衣装に制限があり、短パンと女性は赤いマントを着なければモスクに入れない。このモスクの建設は24年前でピンクの大理石で彩られていて大変美しかった。その後プトラ・レイク(人口湖)を巡るクルージングを楽しんだ。



#### 29、23日(金)

友人から紹介あった中華料理の「迎客楼」(ブキビンタン・パビリオン店)を目指して行ったが閉店していた。それで5階にあるマレー料理の名店

「グランドママス」に行った。ここは店舗スペースを2倍に拡大しており盛況だった。料理はマレー風うどんだ。魚頭を出汁にしたものだった。日本のブランド店を集めた「Tokyo Street」も賑わっていた。特に「すき屋」に長い行列が出来ていたのは驚いた。尤もお客は牛丼ではなく日本料理の本格的すき焼きが目当てだった。

### 30、24日（土）

土産物を買うためにセントラル・マーケットに行った。小売店が2百近くあるだろう。土産物はKL最終日に毎回ここで買っている。昨年に比べマーケットの内装もレイアウトも見違えるようにリニューアルされていた。マレーシア経済の復活を印象付けるものだ。10時開店で10時15分に入ったが8割近いお客で賑わっていた。日本語が久しぶりに数多く聞けた。マレーシア風のアパレルがお手軽価格だ。私はマレーシアバンブーで飾られたボールペンを買った。この場所は独立広場の近くで、最近完成したPNB118タワーが見えた。



### 31、25日（日）

Grabを前日に予約した。空港行きだけGrabで予約ができる。空港には出発時刻の3時間半前に到着した。航空会社はANAだが3時間前からチェックイン開始だった。定刻通りに離陸して羽田には22時に着いた。寒かった。KLとの気温差は20度以上だ。

#### <雑感>

- マレーシア経済は1年前より遥かに改善していた。外食店もお客で賑わっていた。セントラル・マーケットの土産売り場は景気の良さを象徴していた。
- KLのランドマークとして国際金融特区（TRX）と118階建ての高層ビル（PNB118タワー）が完成した。この新しいランドマークはマレーシア経済成長の象徴だ。
- 首都KLの人口は約180万人でその広さは東京23区の4割だが公共交通インフラ（LRTとMRT）が整備されて大変住みやすくなった。年率3.2%で人口が増加している。コロナで一時日本人滞在者が減少したが再び増加している。
- 31日間の長期滞在の内18日間はサウジャナ・ゴルフ場の近くのコンドだった。物価も安く静かな街だった。短パンとTシャツの生活は慣れると快適だ。
- コロナ禍で閉塞した生活から解放されKLはゴルフがブームに湧いていた。名門ゴルフコースの予約が難しくなった。さらに自動車購入者が増えて道路の渋滞化が深刻だとのことだ。

以上